

日常から離れて
宿に籠る。



菊乃屋

昭和43年、山深い峠野の地に、
大婦二人で暖簾を掲げました。
創業より半世紀以上、
先代から受け継いだのは
建物でも料理でもなく、
静かなおもてなしでした。
地元の山の幸、湧き出る温泉、
そして変わらぬ心。
菊乃屋はここにあり、
ただそこにあります。

お料理

山の恵みを、そのまま食卓へ。

女将から受け継いだ一皿が、今日もここに並びます。
峠野の四季が、そのまま食卓に載ってくる。
春は芽吹いたばかりの山菜、秋は香り高いきのこ。
炉窯の上で焼く味噌の香りが、夕餉の始まりを告げる。
清流から揚げた岩魚は、シンプルに塩だけで。
派手さはないが、また来たくなる味があります。

詳しくはこちら



お部屋

山に向いた、10の部屋。

全10室の、小さな宿です。
山を向いた窓と、転張りの襖下。
余計なものは置かない。
夜になれば、窓の灯りは届かない。
聞こえるのは、風と沢の音だけ。
朝、障子を開ければ、山がすぐそこにある。
それだけで、ここに来た理由になります。

詳しくはこちら

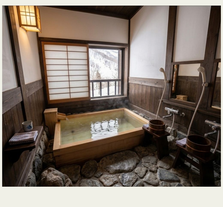


お風呂

深沢の山から引く、小さな温泉。

内湯と、森に出した露天。
広くはないが、湯の質は本物。
夜は虫の音、朝は鳥の声。
ゆっくりと体を沈めてください。
肌に触れた瞬間、やわらかさがわかる。
長く浸かっていられる湯だと、常連の客は言う。
山の夜に、これ以上のものはいりません。

詳しくはこちら





館内案内



アクセス



よくある質問



お知らせ

2026.07.18
菊乃屋アクセスご案内 アキュラのご予約承ります

2026.04.05
アカデンダーへの行方不明者捜索を開始しました。
お早めにご予約ください。

2026.02.10
物価高による料金改定のご案内。

©Kikunoya Ryokan